

第4回 第3学区テニストーナメント

団体の部

と き 予選：平成22年5月29日(土)～6月25日(金)

本戦：平成22年6月26日(土)～27日(日)

と ころ 予選：各学校テニスコート

本戦：大教大天王寺高校テニスコート(男子)

阿倍野高校テニスコート(女子)

参 加	男子：大阪市内地区	11校	42チーム	177名
	中河内地区	11校	49チーム	204名
	南河内地区	13校	38チーム	171名
	合計	35校	129チーム	552名
	女子：大阪市内地区	10校	21チーム	105名
	中河内地区	9校	18チーム	74名
	南河内地区	7校	22チーム	97名
	合計	26校	61チーム	276名
	総計		190チーム	828名

主催 第3学区テニストーナメント実行委員会

後援 大阪高等学校体育連盟テニス部

協賛 (株)インターナショナルスポーツ

大会役員

大会レフェリー(各地区幹事)

大阪市内地区	阿倍野高校	座古	善弘
中河内地区	高津高校	北尾	秀司
南河内地区	富田林高校	小島	芳弘

コートレフェリー

予選及び本戦会場の学校顧問

試合進行係

予選及び本戦会場のテニス部生徒

大会使用球

ブリジストン ツアープロ(4球入り) 1チーム2缶(2球は予備球)

※敗者チームは2缶とも持ち帰り、部活動の練習ボールにして下さい。

表彰

優勝チームに、賞状と大会持ち回りの優勝カップ(学校陳列用)と優勝盾
準優勝・3位(ベスト4)に、賞状と盾を贈呈します。
予選アップのチームには、賞状を贈ります。

試合方法

試合は、すべて1セットマッチ

(6ゲームズオール 12ポイントタイブレーク)

予選・本戦とも当該チームの初回戦は、複・単1・単2のすべてを行うが2回目以降は、コートレフェリーの判断により勝敗が決定した場合は試合を打ち切りとします。(時間に余裕があれば3本とも行っても良い)

試合規則

J T A 試合規則に従います。

ただし、高体連テニス部主催の公式戦(団体戦)に準拠し、登録順位の高い者から単1とします。応援に関しても高体連テニス部の指導基準に従います。

その他

会場校は試合開始前に練習する場合、各チームに練習用コート等を等しく提供しなければならない。

この試合は予選・本戦とも学校顧問の付添は必須ではないが、試合の重なりがなければ、できるだけ付き添っていただけるようお願いいたします。

予選の試合結果は、予選ブロック責任校が試合結果報告書をまとめて、阿倍野高校(座古)まで、すみやかに郵便・府立高校間通送便等で送って下さい。

団体戦注意事項

1. 試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により変更することがある。
2. 出席は、試合開始予定時刻 15 分前までに、更衣の上、大会本部に届けること。団体戦では登録メンバー 3 人以上の出席が届いていない場合は失格とする。
チームメンバーの内、ひとりが欠けた場合は第 2 シングルス を不戦敗とする。ただし、試合会場の出席届の時点でメンバーは確定したものみなし、2 試合目以降でのメンバー追加は認められない。2 名以上欠けた場合は、失格とする。
ダブルス・第 1 シングルス・第 2 シングルの順に行うが、都合により同時進行で行う場合もある。
3. 相互審判の S C U 方式とする。不適切なジャッジは、コートレフェリーが権限としてオーバコールし、指導することがある。
4. 試合は進行表（オーダーオブプレー）により行うので、指定されたコートの試合が終われば、ただちにそのコートに入り、試合を始めること。清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェアを着用すること。靴は必ずテニスシューズのこと。
5. コートに入れる人は、プレーヤー・審判・レフェリー・シングルスの場合のみボールパーソン 1 人（対戦する双方から 1 人ずつ）。団体戦の時は、1 コートにつき学校顧問あるいは登録選手のベンチコーチ 1 名。
6. プレーヤーは、指定されたコートに入り、まずトスをしてサービス・エンドを決めてからウオームアップにはいる。ウオームアップはサービス 4 本とします。
7. プレーヤーは、試合中は何人からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。（団体戦ではエンドの交替の時のみ、そのコートのベンチコーチからは可。）
団体戦での応援は、高体連テニス部の指導基準に従う。
8. プレーは最初のサービスから試合終了まで連続的に行われなければならない。ケイレンなどの場合は、審判と本部に要求後に 1 回 3 分間に限りプレーヤー自身で手当てすることができる。また、プレーヤーはコートを離れることは許されない。もし、離れた場合は失格する。
時間の管理は、コートレフェリーが行う。
9. 規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は失格とする。
10. 1 人が連続して試合をしなければならない場合の休憩は、程度によりレフェリーが判断する。
11. 大会会場の美化整備には最大限協力しなければならない。各自のゴミは必ず持ち帰ること。大会会場で器物破損、その他不始末行為や暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分を行う。試合において不正があった場合も同様とする。
12. 会場へは、バイクや車を運転してくることを禁ずる。
13. その他、コートレフェリーまたは会場校生徒（試合進行の係）の注意指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。テニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽につとめること。